

飛騨市学園構想  
SUPER COMMUNITY SCHOOL



52

みんなが育て みんなが育つ 魅力あるまち

◆神岡中学校とmaimaiのつながり

神岡中学校では地域学校協働本部(通称:maimai)に協力していただきながら教育活動を進めています。昨年度より校内に「maimaiルーム」ができてメンバーの方に常駐していただくようになり、探Q学習(総合的な学習の時間)では、生徒が必要な時に相



令和7年2月12日にmaimaiの協力のもとで行われた探Q発表会

学校と地域をつなぐ地域学校協働本部

談ができるようになりました。また、生徒だけでなく、教員も探Q学習の進め方などの相談を気軽にすることができ、学校と地域をつなぐ要となっていていただいています。

◆持続可能な教育活動にするために

ある生徒は実際に「maimaiルーム」を利用し、探Q発表会で使うスライドや話す内容について、聞き手の目線からの助言をいただきました。そのため、内容が改善され、地域の方にも伝わりやすい発表をすること



校内にある「maimaiルーム」。気軽に立ち寄り、探Q学習についての助言がもらえる

ができました。

これらの姿や活動は、地域の人と関わったからこそ生まれたものです。

学校では教員の異動や、少子化の影響による教員数の減少があります。しかし、maimaiの方々に継続的に関わっていただくことによって子どもたちにとって魅力的で有意義な教育活動が持続可能なものになります。今、そして未来の子どもたちが楽しんで学び続けられるような体制を地域と学校が一体となって築いていきたいと考えています。

飛騨市立神岡中学校

情報発信

ホームページ

Facebook



問 学校教育課 ☎ 0577-73-7494

今月の  
ゼロカーボンアクション

賢く夏を乗り切ろう!  
猛暑を乗り切る知恵と  
温暖化への対策

今年5月に神岡町で全国初の猛暑日が観測されるなど、本格的な夏を前にしてすでに異常な暑さが記録されています。気象庁の予報でもこの夏は平年より気温が高くなる見込みで、熱中症への備えとあわせて、私たちの暮らし方を見直すことが求められています。

エアコンを適切に使いながら

- すだれやカーテンで日差しを防ぐ
- タイマー機能を活用する
- 省エネ家電に切り替える

暑さと省エネを両立する工夫が有効です

電気の使い方を考えることは、地球温暖化への具体的なアクションにもつながります。この夏は、ご家庭でも地域でも、小さな一歩を積み重ねながら、「エコで快適な夏」を過ごしてみませんか。

省エネ性能の高い製品に買い替えると補助金が給付される場合があります

対象製品 エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、照明器具

省エネ家電製品  
買替補助金



問い合わせ・相談窓口  
環境課 ☎ 0577-73-7482

# まめなかな

## 带状疱疹

### ◆带状疱疹とは

带状疱疹は、水ぼうそうと同じウイルスが原因で起こる皮膚疾患です。水ぼうそうになると、治った後もウイルスは症状を出さない状態で体内に潜み続けています。そのため、水ぼうそうになったことのある人は带状疱疹を発症する可能性があります。带状疱疹は加齢やストレスで発症しやすく、50～70歳代での発症が多くなっています。

### ◆带状疱疹の特徴

带状疱疹の主な症状は、体の左右

どちらかに生じる痛みやかゆみを伴う発疹です。痛みを伴う場合は、まもなく小さな水ぶくれに変化して次第に数を増し、一部には膿がたまりまします。その後かさぶたになって皮膚症状は改善し、痛みも治まります。

しかし、皮膚症状が治っても、一定の頻度で、日常生活に支障をきたすような痛みが残る（带状疱疹後神経痛）場合があります。また、免疫が低下すると再発を繰り返すこともあります。

### ◆带状疱疹はうつるの？

水ぼうそうになったことがない、または、水ぼうそうの予防接種をしていない乳幼児に接触するとうつる可能性がありますので、注意が必要です。

### ◆予防方法は？

予防接種が有効です。

今年度から年度内に65歳を迎える方(60～64歳でHIVによる免疫機能の障害を有する者も含む)を対象とし

た定期接種となりました。そして今年度から5年間に限り、年度内に70、75、80、85、90、95、100歳を迎える方も対象となります。また、今年度のみ100歳以上の方も対象となります。

対象の方には4月上旬に案内を送付しています。

ワクチンには2種類あり、各ワクチンは、接種回数や方法、条件、効果、料金等が異なります。接種を希望される場合は、接種医にご相談ください。

なお、定期接種の対象ではない方が接種を希望される場合は、市の任意接種費助成制度があります。詳しくは市ホームページもしくは保健センターまでお問い合わせください。



定期接種



任意接種費助成

問 保健センター ☎0577-73-2948



<その65> はじめませんか？

## 減らして備える

家の中の片付けに「防災」の視点を絡めることで、毎日の暮らしがスッキリとスムーズになります。

防災と片付けを考える時「普段から安全かどうか」「災害時も想定した整理整頓か」「賞味期限を意識した備蓄か」これらがポイントとなります。

これらのポイントを軸にモノを見直して厳選することで、整理整頓と防災備蓄が両立でき、普段の生活はスッキリと暮らしながらも自然災害にも備えることができるのです。

実は我が家では、背の高い家具がひとつもありません。はじめは転倒防止用の器具を取り付けることも考えましたが、本棚の見返すことのない本や食器棚の使っていない食器、洋服ダンスの着なくなった衣類を処分することで、家具自体もほとんど必要なくなったのです。

また、災害時の避難の妨げになるので床にはなるべくモノを置かないようにします。特に、廊下や階段、玄関先に後で時間がある時にゆっくり片付けようと思って段ボールの箱を置いていたり、すぐ使うものだからとモノを置きっぱなしにしているませんか。災害時はもちろんのこと、日常でもつまずいて転倒するなどの危険があります。

それから在宅での避難生活のために飲料や保存食品などを普段から確保している人も多くみられますが、賞味期限を時々意識することも必要

です。そのためには、やみくもに備蓄するのではなく、あらかじめ必要な在庫数を決め、時々古いものから消費しながら、消費した分だけ補充しましょう。

防災はそのためのモノを揃えることだけでなく、家の中を安全な空間にしておくことも防災です。災害時でも在宅非難したいと思うなら「防災お片付け」を考えてみませんか。

### 9月の終活セミナー

## 『わたしを守る減災整理』

(不動産売却の流れとコツ)

■ 9月11日(木) 13:30～15:00

■ 古川町コミュニティセンター

お申し込みは下記まで

問 飛騨市終活支援センター  
(飛騨市社会福祉協議会内)

☎0577-73-3214